

4 歳児（はな組）保育指導案

1 幼児の実態と教師の願い（省略）

2 週のねらいと内容(10月20日～10月24日)

- 友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさ、心地よさを味わう。
- 自分の思いを言葉や動きで表し、伝えながら友達と遊ぶことを楽しむ。
- ・友達と誘い合いながら、体を動かす遊びを楽しむ。
- ・友達と同じ場で遊ぶことを楽しみ、自分の思いを伝えようとする。
- ・身近な秋の自然物を使って、工夫したり好きなものを作ったりする。

3 本日の指導計画

ねらい

- 自分の好きな遊びを通して、友達と触れ合いをもち、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- 身近な秋の自然に触れながら好きなものを作ったり、使って遊んだりすることを楽しむ。

時間	内容	援助と環境構成
9:00	○朝の集まりに参加をする。 ・クラスで挨拶を交わし、今日の活動に期待をもつ。	○元気に挨拶を交わし、一日の予定を伝える。 ○「いろいろと楽しもう」「何をしようかな」という気持ちをもてるように声をかける。
9:10	○自分のしたい遊びを見つけて取り組む。 ・砂場で温泉や大きな水路・料理などを作る。☼ ・赤土を使って泥団子やケーキなどを工夫して作る。☼ ・色が出る花を考えながら、園庭の花や草を使って色水を作り、色の変化を楽しんだり、泡をたてて遊んだりする。☼ ・登り棒や雲梯・木登りなどに挑戦したり、好きな遊具を楽しむ。☼ ・すべり台やブランコなど好きな遊具を楽しむ。☼ ・虫ムシランドで虫を探したり、世話をしたりする。☼ ・好きな曲を聴いたり、楽しんで踊ったりする。☼☂ ・秋の自然物などを見て色や形を見てイメージを広げたり、遊びに使うものを作ったりする。☼☂ ・サーキット遊びに取り組む。☂ ・雨の日の散歩を楽しみ、自然の変化などに気付く。☂ ・好きなごっこ遊びを楽しむ。☼☂	○道具など環境を整えたり、安全に遊べるように配慮したりする。 ○教師も一緒に遊びながら、砂や土・水などの感触や心地よさを感じる。また友達の遊びを紹介したりつなげたり、周りの幼児にも楽しさが伝わるようにする。 ○花と一緒に探したり、できた色の美しさやいろいろな発見に共感したり周囲に伝えたりする。 ○草花の違いや水の量、混ぜ方で色が変化するおもしろさを感じられるようにする。 ○自分の目標をもって取り組んでいる姿を認める。必要に応じて助けたり、コツを知らせたりして援助していく。できるようになったことを認めながら、うれしさを共有していく。 ○安全に遊べるよう、十分に配慮する。 ○小さな生き物の動きや変化に気付き、世話の仕方もある生命の大切さに気付けるようにする。 ○曲を聴いたり、友達の踊りを楽しんだり、踊ったりする姿を認め、一緒に楽しむ。 ○幼児のイメージを大切にしながら、作ることを楽しめるように手伝ったり認めたりする。作品ができた喜びに共感していく。 ○安全に気を付けながら、体を動かすことを楽しみ、できた充実感を共に味わえるようにする。 ○雨の日ならではの匂いや音などを感じる姿を認めたり、共感したりしていく。 ○なりきって楽しむ姿を認めていく。

10:00	<p>○片付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の使った道具を片付けたり、友達の片付けを手伝ったりする。 ・手洗いやうがい、着替えなどをする。 	<p>○使った場所がきれいになったら気持ちがよいことを感じられるように声をかけていく。</p> <p>○身の回りを清潔にすることの必要性和心地よさを感じられるようにする。</p>
評価	<p>(幼児の育ちを捉える視点)</p> <p>○自分の好きな遊びを通して、友達と触れ合いをもち、一緒に遊ぶ楽しさを感じることができたか。</p> <p>○身近な自然に触れながら好きなものを作ったり、使って遊んだりすることを楽しんでいたか。</p> <p>(保育を振り返る視点)</p> <p>○自分の好きな遊びを通して友達と触れ合いをもち、一緒に遊ぶことを楽しむことができるよう、必要な援助ができていたか。</p> <p>○身近な自然に触れながら遊ぶことを楽しめるよう、必要な物の準備や援助はできていたか。</p>	